

# 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度から令和2年度まで）6年間における成果指標の達成状況について評価を実施

- 83の指標のうち、約7割にあたる61の指標で目標達成または上昇（74%）。うち29指標で目標達成（35%）
- 一方で、20の指標で低下（24%）。うち15の指標が新型コロナウイルス感染症の影響（18%）

## 《評価基準》

- ◎ 目標達成：目標値の水準に到達
- 上昇：基準値に対し上昇
- △ 横ばい：基準値に対し横ばい（変動率±0.5%の範囲内）
- × 低下：基準値に対し低下

区分	◎ 目標達成	○ 上昇	△ 横ばい	× 低下		合計
				コロナ	その他	
1. 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	13	7	0	5	2	27
2. 岡山市への新しいひとの流れをつくる	3	3	0	0	0	6
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	5	10	0	4	2	21
4. 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する	8	12	2	6	1	29
計	29 (35%)	32 (39%)	2 (2%)	15 (18%)	5 (6%)	83 ※

※区分4の指標「人口集中地区(DID)人口密度」及び「基幹的公共交通路線の徒歩圏人口」は今後数値が公表される予定

## 目標達成した主な指標

- 市内就業者数 366,876人 (H24) → 390,436人 (H30)
- 学生イノベーションチャレンジの参加学生の地元就職率と市内学生の地元就職率平均値を比較した値 — → 170% (R1)
- 私立認定こども園移行数 1園 (H27) → 35園 (R3.4)
- 刑法犯認知件数 8,420件 (H26) → 3,951件 (R2)

## 低下した主な指標

- 観光入込客数 7,577千人 (H27) → 3,049千人 (R2)
- 子育て応援サイト（こそだてばけっと）年間アクセス件数 1,131,185件 (H26) → 874,529件 (R2)
- ファジアーノ岡山のホームゲームで開催される試合の平均入場者数 8,404人 (H26) → 3,072人 (R2)

## 国の地方創生交付金事業(3件)の内訳と成果等について

OR2年度目標値達成 …3指標/10指標

### < 推進交付金活用事業 >

#### 岡山型国際対応ヘルスツーリズム拠点化促進プロジェクト(総事業費:29,548千円 交付金:14,774千円)

指標名	→ 目標	実績
「連携自治体内におけるムスリム観光客の宿泊者数」	4,059人	396人
「連携自治体内における観光入り込み客数」	15,307千人	5,635千人
「ハラル対応店舗・施設数」	73件	73件

#### まちの持続可能な開発を実現する真の生涯活躍のまちづくり(総事業費:134,741千円 交付金:67,371千円)

指標名	→ 目標	実績
「医療費抑制効果」	136,800千円	181,022千円
「生活習慣の改善に取り組んでいる人の数」	7,000人	4,056人
「ヘルスケア関連企業として生活改善メニューを提供している企業の数(社)」	32社	44社
「就労・社会参加につなげた高齢者等の人数」	970人	751人

#### スタートアップ&学生チャレンジ支援による「おかやまイノベーション推進プロジェクト」総事業費:17,471千円 交付金7,442千円)

指標名	→ 目標	実績
「岡山市内で開催の起業コンテスト応募件数」	178件	92件
「学生イノベーションチャレンジの参加学生の地元就職率と市内学生の地元就職率の平均値を比較した値」		→新型コロナウイルス感染症のため未実施
「学生イノベーションチャレンジの参加学生数」		→新型コロナウイルス感染症のため未実施

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況にかかる検証一覧

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価		
						年	値		状況	コメント	
1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	数値目標	1	産業観光局	市内就業者数	366,876 (H24)	H30	390,436人	381,000人	上昇(目標達成)	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。	
		2	市民協働局	市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合	10.7% (H24)	H29	22.0%	21%(R4)	上昇(目標達成)	企業や働く人を対象とする女性活躍の啓発事業を行っており、市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合は、上昇している。	
	①新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興	①地場産業の育成・強化 ②地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成	3	産業観光局	製造業総生産	3,821 (H24)	H30	4,225億円	4,231億円	上昇	目標値達成には至らなかったものの、基準値から404億円増加し、目標値に対する達成率は、99.9%となっている。今後はIoT・AI等の活用支援や機械設備導入支援などにより生産性の向上を図る。
			4	産業観光局	卸売・小売業総生産	4,270 (H24)	H30	4,238億円	4,726億円	低下	市内の卸売・小売事業者を支援する各種施策を実施した結果、卸売業の総生産は増加したが、小売業の総生産が卸売業の総生産の増加額よりも低下したことから、全体として基準値より低下した。H28年とH24年の経済センサスと比較すると、小売業のなかでも燃料小売業の事業所数及び年間商品販売額が下落していることが要因として考えられる。さらにその要因としては、原油価格の下落が考えられる。H24年とH30年の原油価格を比較すると、H30年の原油価格が下落している。
			5	産業観光局	サービス業総生産	6,829億円 7,899億円 (参考)	H30	— 8,828億円 (参考)	7,572億円 8,760億円 (参考)	上昇(目標達成)	H27年度版の市民経済計算から表章される経済活動分類が変更されており、変更前の実績値を算出することができない。参考までに現在の5つの分類(宿泊・飲食サービス業、専門・科学技術・業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービス)で比較した結果を記載。5つの分類のうち教育が最も増加(22.6%)した。
			6	産業観光局	商店街歩行者通行量(休日)	5,283人(H26)	H29	5,654人	5,700人	上昇	平成29年度の通行量は、基準値より上昇し、目標値に近い数値に達した。商店街活性化支援や岡山市商店会連合会の集客イベントへの共催協力等が中心市街地の魅力と集客力向上に繋がり、通行量増加の一因となったものと考えられる。 ※令和2年3月に予定していた「第28回岡山市商店街等歩行者通行量調査」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
				産業観光局	商店街歩行者通行量(平日)	4,113人(H26)	H29	4,324人	4,400人		
			7	産業観光局	開業率	5.4%(H26)	R2	5.1%	6.6%	低下	全国的に平成30年度・令和元年度は開業率が低下し、令和2年度は上昇しており、市も同様の傾向を示している。市の開業率は全国の開業率を上回っており、商工団体や産業振興財団などの関係機関と連携し、市全体として創業支援に取り組んでいる。
	8	産業観光局	市内就業者数(人)【再掲】	366,876	H30	390,436	381,000	上昇(目標達成)	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。		
	③拠点性を活かした企業と人の集積		9	産業観光局	企業立地・再投資件数(件)	—	(H27~R2)	74	6年間で83	上昇	本社・中四国支店等の各種補助制度の創設や拡充、空港南産業団地の整備のほか、アンケート調査を通じた企業訪問など、様々な機会を捉えた効果的な企業誘致活動を実施した結果、件数が順調に推移し、企業立地を推進した。
			10	産業観光局	新規常用雇用者数(人)	—	(H27~R2)	1,028	6年間で960人	上昇(目標達成)	本社・中四国支店等の各種補助制度の創設や拡充、空港南産業団地の整備のほか、アンケート調査を通じた企業訪問など、様々な機会を捉えた効果的な企業誘致活動を実施した結果、企業立地・再投資件数が順調に推移したことから、新規常用雇用者数も目標を達成した。
			11	産業観光局	市内就業者数(人)【再掲】	366,876 (H24)	H30	390,436	381,000	上昇(目標達成)	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。
②歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進		12	産業観光局	観光入込客数(万人)	583.7万人 (H26)	R2	304.9	948.7	低下	デスティネーションキャンペーンを実施した平成28年をピークに近年横ばいで推移している。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、観光客数は大きく減少した。今後は情報発信や基本的な感染対策を実施した上で工夫を凝らしたイベントの開催などコロナ禍に応じた事業を実施するとともに、地域の資源の掘り起しやそれを活用した新しい魅力づくりを行う。また、令和4年度に予定されている岡山デスティネーションキャンペーンや岡山城のリニューアルなどの大規模イベントや文化財を活用した観光誘客事業により、コロナ後の観光誘客を図る。	

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価			
						年	値		状況	コメント		
		13	産業観光局	実宿泊者数(万人)	115.9 (H26)	R2	64.1	163	低下	平成27年度以降、近年は横ばいで推移。平成30年は豪雨災害など外的要因も影響し減少傾向にあった。さらに令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。		
		14	政策局	岡山歴史のまちしるべ設置数(か所)	—	R2	164	150	上昇(目標達成)	積極的な市民提案により目標を達成したが、提案数は減少傾向(H29 32基、H30 19基、R1 12基、R2 14基、R3 10基)にあり、かつ、看板の近接化や提案団体の固定化という状況もあるため、事業の誘導エリアや終期について検討が必要。		
		15	都市整備局	体験施設や公園等の来場者数(人)(たけの森)	28,350 (H28)	R2	15,600	29,850	低下	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために実施した休園措置や、はっぴね桜まつりの中止、プール営業の休止等の影響により入園者数は減少した。		
		16	産業観光局	外国人観光客宿泊者数(人)	38,301 (H26)	R2	15,877	214,000	低下	積極的なプロモーションの効果もあり、順調に増加していた。しかし、新型コロナウイルスの影響により激減しており、今後の見通しも不透明な状況。		
		17	産業観光局	コンベンション参加者数(人)	166,968 (H26)	R2	14,810	207,000	低下	岡山市・おかやま観光コンベンション協会・岡山コンベンションセンターの三位一体による誘致活動により基準値を超えて推移していたが、近年は平成30年7月豪雨や新型コロナウイルスといった外的要因の影響を受けている。今後はオンラインやハイブリッド等の様々な開催形態に対応できるような体制を整える等、変化に応じた積極的な誘致活動を行う。		
		18	産業観光局	国際会議開催件数(件)	37 (H26)	R1	43	43	上昇(目標達成)	利便性等の優位性をいかし、増加傾向にあったが、現在は、感染症の影響により開催件数が大幅に減少。さらに今後は、リモートやハイブリッド形態で開催する会議やイベントの増加が予想される。		
		19	市民生活局	岡山芸術交流 Okayama Art Summit 来場者数(人)	117,000 (H26)	R1	311,731	260,000	上昇(目標達成)	3年ごとに開催される国際現代美術展「岡山芸術交流2019」(会期 令和元年9月27日(金)～11月24日(日))の成果・課題等を踏まえ、次回開催「岡山芸術交流2022」を決定し、諸準備を行った。		
		(3) 活力ある農業の振興	① 新たな担い手の確保・育成	20	産業観光局	新規就農者数(人)	22 (H26)	R2	25	40	上昇	農業次世代人材投資事業や就農相談などの就農支援の取組により、令和元年度まではほぼ順調に伸びてきていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により就農相談会の開催、参加ができないなど就農促進事業が十分には行えなかったことも影響し、新規就農者数の減少を招いた。
				21	産業観光局	担い手への農地集積率(%)	22.7 (H26)	R2	39.3	37.5	上昇(目標達成)	機構集積協力金や担い手への規模拡大奨励金などの取組により、担い手への農地集積が着実に進んでいる
	② 地産地消の推進と農村コミュニティの再生・強化		22	産業観光局	岡山産の野菜・果物の購入を意欲している市民の割合(%)	56.4 (H27)	R2	59.5	65	上昇	地産地消のイベントや地産地消パソナーの開催等により啓発を図ったことから上昇したが、地産地消の機運を大きく盛り上げるまでには至らなかったため目標値は達成できなかった。	
			23	産業観光局	多面的機能制度取組面積(ha)	1,505 (H26)	R2	3,542	7,025	上昇	制度開始(H26)当初の増加面積に基づき目標値を設定し、地域単位で説明会を開いて(延べ78回)制度の周知を図ったが、活動組織の立ち上げに至らない地域が多く、目標値は達成できなかった。	
	(4) 地域の活力を担う人材の育成・確保	① 多様な人材が活躍できる環境づくり	24	保健福祉局	生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者の人数(人)	61 (H27)	R2	— 616	660(旧) 590(新)	上昇(目標達成)	・旧事業については、基準値から順調に増加して推移したが、令和元年7月末で新事業へ移行した。 ・令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響によるセンターの閉鎖により登録者数が伸び悩んだが、下半期は適職診断フェアなど効果的なPR活動を実施することにより、登録者数は増加に転じ、目標値に達した。	
			25	岡山っ子育成局	社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者の人数(人)	—	R2	8	5	上昇(目標達成)	社会参加プログラムへの参加が、就労への動機づけとなり、目標値である年間5人に達することができた。	
			26	総務局	岡山市役所の管理職に占める女性の割合(%)	6.5 (H26)	R3.4	15	14	上昇(目標達成)	女性職員の積極的な登用に取り組んだ結果、目標を達成した。引き続き、新たな目標の達成に向け、女性職員の積極的な登用に取り組んでいく。	
		② グローバル人材の育成	27	教育委員会	生徒の英語力(中学校3年生)実施状況調査で英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数の割合(%)	29.2 (H26)	R2	43.3	50	上昇	基準値と比べると大きく増加しているが、目標値には達しなかったため、文部科学省の教科調査官を招聘した教員研修会を実施し、授業改善を図っていく。	

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価			
						年	値		状況	コメント		
2 岡山市への新しいひとの流れをつくる	数値目標	28	市民協働局	転入超過者数(人)	700(H26)	R2	706	1,000	上昇	移住相談会や下見ツアー、東京への移住相談窓口設置等を実施したが、転入超過者数は東京一極集中等を背景に減少、目標達成には至らなかった。		
		(1)移住・定住の促進	①相談窓口の設置	29	市民協働局	サテライト移住相談窓口相談件数(件)	—	R2	72	375	上昇	平成29年10月2日に、岡山市東京事務所内から岡山連携中枢都市圏での合同相談窓口としてパソナ本社ビル3階地方創生オフィスフロアに移転。窓口の開設時間延長などの相談体制の充実を図ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言発令により、相談窓口を一時閉鎖、その後の外出自粛や県を跨いだ移動制限により相談件数は大幅に減少し、目標達成に至らなかった。
			②UJターン支援	30	産業観光局	市内就業者数(人)【再掲】	366,876(H24)	H30	390,436	381,000	上昇(目標達成)	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。
		(3)地元大学等との連携	①大学等との連携による人材確保	31	産業観光局	市内就業者数(人)【再掲】	366,876(H24)	H30	390,436	381,000	上昇(目標達成)	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。
			②大学等との連携による地域活性化	32	市民協働局	20歳代の地域活動への参加割合(%)	17.9(H27)	R2	20.1	30	上昇	公民館での若者を対象とした講座の実施等により、基準値と比較して指標の数値は増加しているが、若者を対象にした地域活動への参加を促す取り組みが不十分であったため、目標値に届かなかった。今後は若者に向けて普及・啓発を進め、地域活動への参加を促す。
		33	政策局	学生イノベーションチャレンジの参加学生の地元就職率と市内学生の地元就職率平均値を比較した値(%)	—	R1	170	120	上昇(目標達成)	市内や包括連携協定を締結している市外の大学生等が、地域課題の解決や小規模ビジネスの実現を通じて、地元企業や地域住民と触れあって地元の魅力を知り、こうした学生の活動を支援することで、若者の地元定着の取組を促進できた。		
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	数値目標	34	岡山っ子育て成局	子育て支援・児童福祉施策の満足度(%)	16.7(H27)	R1	20.5	30	上昇	当該指標(令和元年度岡山市市民意識調査)について、「満足・やや満足」と回答した人の割合は20.5%となり、基準値(平成27年度)より3.8%改善したが、目標値には届かなかった。保育所等の待機児童数や子どもの貧困等が注目されたことなどが影響したと思われる。子育て環境の充実をさらに進めていく必要がある。なお、当該指標については、後期中期計画では子育て世帯を対象とした「子ども・子育て支援に関するアンケート」の指標を採用し、実際に子育てをしている世帯に評価をしていただき、今後の施策に活かしていくこととしている。		
		35	岡山っ子育て成局	保育所等への入所希望者(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%)	88.5(H27)	R3.4	78.5	100	低下	保育の受け皿の確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果、令和3年4月時点で待機児童は概ね解消したが、「子ども・子育て支援事業計画2020」(R2～R6)で示した量の見込み(潜在ニーズを含む。)が、従前の計画(H27～H31)と比べて大幅に増加したため、入所できた児童の割合としては基準値よりも低下したものの。		
		36	岡山っ子育て成局	放課後児童クラブへの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合(%)	87.7(H27)	R2	78.8	100	低下	「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり見直した結果、入所希望児童数の見込みが前期計画よりも増加したため、基準値よりも悪化しているが、積極的な施設整備により、受入れ児童数は増加しており、昨年度よりも割合は改善している。引き続き、施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく。		
	(1)保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消	①幼保連携型認定こども園等の整備を推進	37	岡山っ子育て成局	保育所等の待機児童数(人)	729(H28.4)	R3.4	31	0	上昇	保育所等の待機児童数については、保育の受け皿整備と保育士確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果等により減少した。今後も引き続き待機児童0人を目標とし、事業を推進していく。	
			38	岡山っ子育て成局	市立幼保連携型認定こども園移行数(園)	4(H27.4)	R3.4	17	36(新)30(旧)	上昇	市立こども園整備については、保護者や地元関係者等に一定の理解を得ながら進める必要があり、ある程度の時間を要することから、目標値未達となっている。 ※整備数の見直し(教育・保育提供区域(30)から、中学校区(36)ごとに1園の整備)を行ったため目標値を修正	
			39	岡山っ子育て成局	私立認定こども園移行数(園)	1(H27.4)	R3.4	35	28	上昇(目標達成)	認定こども園移行説明会の実施等によりこども園移行を促進した。	
			40	岡山っ子育て成局	地域型保育事業利用者数(人)	0(H27.4)	R3.4	673	1,713	上昇	保育所整備等によっても待機児童の解消は進んでいる。	
			41	岡山っ子育て成局	幼稚園教諭免許・保育士資格未取得者数(人)	0(H27.4)	R3.4	0	0	上昇(目標達成)	認定こども園に勤務する保育教諭は令和7年以降、幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方を所持する必要があるため、事業及び目標値の見直しは行わない。	

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価		
						年	値		状況	コメント	
(2)結婚・出産・子育て支援	②放課後児童クラブの整備を推進	42	岡山っ子育て成局	潜在保育士登録者数(人)	129 (H27.4)	R3.4	48	130	低下	新型コロナウイルスの影響により、多くのイベントが中止となり、潜在保育士登録者数が減少した。	
		43	岡山っ子育て成局	施設確保が必要な児童クラブ数(1.65㎡未満/人)(クラブ)	49 (H27.4)	R3.3.31	34	0	上昇	基準値からは上昇したが、小学校の児童数が増加している地域もあり、依然として児童クラブのニーズは高く、施設整備が必要な児童クラブは多い。	
	①出会いの場の環境づくり	44	岡山っ子育て成局	出会いのひろば事業参加者のうち結婚報告数(件)	10 (H26)	R3.3	13	15	上昇	R2年度に1件結婚報告があったが、目標値には届かなかった。事業参加者に結婚報告をお願いしているが、参加者の任意の報告に基づいていることもあり、結婚報告数が伸びなかったと思われる。	
		②妊娠・出産・子育てのための支援	45	岡山っ子育て成局	シルバー世代産前産後応援事業利用登録者数(人)	80 (H26)	R2	139	150	上昇	目標値には達していないが利用しやすい制度への見直しや広報誌による周知により、登録者数は上昇している。今後も様々な機会に広報し、登録者数を増やす取組を行っていく。
			46	岡山っ子育て成局	ファミリーサポート事業活動件数(件)	8,959 (H26)	R2	6,375	10,000	低下	国への報告を踏まえて活動内容を整理したことで、件数が減少した。また、令和2年度はコロナ感染防止のための外出自粛により、活動件数が減少した。
			47	岡山っ子育て成局	心豊かな岡山っ子育て応援団賛助団体員数(団体)	9 (H26)	R2	61	90(新) 60(旧)	上昇(目標達成)	賛助団員の確保に向け事業の見直し及び広報活動等を行った結果、平成29年度に目標値を達成したため、目標値を上方修正したが、寄附金による賛助団体員数が減少し、見直し後の目標は達成できなかった。
			48	岡山っ子育て成局	プレーパーク開所箇所数(か所)	常設1か所 (H26)	R2	常設1 臨時7	10	上昇	今後は、養成講座を受講したプレーリーダーが各地域で継続的な活動ができるよう支援を行っていく。
			49	岡山っ子育て成局	子育て応援サイト(こそだてほけっと)年間アクセス件数(件)	1,131,185 (H26)	R2	874,529	1,200,000	低下	サイトを充実させ、周知を図ることで令和元年度までは着実にアクセス数は上昇していたが、令和2年度は、コロナ感染予防のためのイベント中止や外出自粛により、コンテンツ別アクセス数上位のイベントカレンダーやおでかけスポットのアクセス数が大幅に減少し、目標を大きく下回った。
			50	保健福祉局	専門職による子育て世代包括支援センターでの(妊娠届出時の)面接・相談件数(件)	—	R2	5,763	6,000	上昇(目標達成)	子育て世代包括支援センター(おかやま産前産後相談ステーション)に妊娠届を提出した妊婦においては、専門職による100%の面接ができ、支援が必要な方に妊娠期からの切れ目ない支援ができた。妊娠届出数は減少しているため、目標値は下回るものの率としては目標の水準に到達している。
			51	岡山っ子育て成局	保育環境整備事業(保育園文書・用品等集配業務)保護者相談・支援対応の実施回数(回)	—	R2	1,584	2,200	上昇	新型コロナウイルス感染拡大防止措置に係る園自粛要請期間があったため、保護者相談等の回数が減少し、目標達成に至らなかった。
	①ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進	52	市民協働局	男性管理職向けセミナーの受講者数(人)	—	R2	68	毎年100	上昇	セミナーの出席者実人数は増加したが、講演会は、新型コロナウイルス感染症の流行により講師が来岡できず、リモート対応となった影響もあり、講演会の出席者が大幅に減少し、目標値を達成することができなかった。今年度から、講演会は、女性活躍推進シンポジウムに一本化し、ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進を図る。	
		53	市民協働局 岡山っ子育て成局	男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合(%)	82.4 (H27)	R1	85.3	85	上昇(目標達成)	令和元年に85.3%となり、目標値の85%を達成した。市民の意識は浸透してきており、後期中期計画では市民意識を問う成果指標ではなく、市の施策の効果をより分かりやすく測ることができるよう、具体的な取組状況(仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合)とする。	
		54	市民協働局 産業観光局	再就職支援講座受講者のうち、就職に向けて活動した人の割合(%)	79.0 (H26)	R2	66.7	毎年80%	低下	オンラインと対面のハイブリッド形式で講座を開催したところ、受講者は前年度より大幅に増加したため、就職に向けて活動した実人数は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、就職に向けて活動した人の割合は基準値より低下となった。引き続き、就職につながるよう工夫していく。	

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価		
						年	値		状況	コメント	
4 安全・安心に暮らせるまちづくり、地域と地域を連携する	数値目標	55	政策局	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合(%)	79.2 (H27)	R1	79.0	85	基準値に対し横ばい	目標値の達成には至らなかったが、人口等縮小傾向にある日本の状況において基準値を概ね維持しているという実績は、各施策の効果により都市機能の維持・向上が図れたと考える。	
		56	市民生活局 市民協働局	安全・安心な地域社会と感ずる市民の割合(%)	82.0 (H27)	R1	79.9	88	低下	各施策の実施を通じ、地域防犯力の強化と交通安全対策の推進を進めていたが、新たな手口の特種詐欺の被害が発生するなど、市民の不安が増大したと考えられ、令和元年度は基準値よりも下がったと考えられる。今後も社会情勢に合わせた広報啓発活動を実施していく。	
		57	保健福祉局	健康寿命の延伸(歳)	男性69.0 女性72.7 (H27)	R1	男性72.2 女性74.9	男性72.2 女性75.3	上昇	健康無関心層を含めた健康づくりのきっかけとなった健康ポイント事業をはじめ、ええとこ発見園などを活用した地域における市民協働の健康づくり活動の展開により、男性については、目標値の水準に到達、女性については、目標値の水準には達成していないものの前回の実績値より伸びている。今後は、地域に加え職域との連携も図りながら、市民の健康的な生活の習慣化に向けさらなる取り組みを進めていく	
	(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり	①計画的なまちづくりの推進	58	都市整備局	人口集中地区(DID)の人口密度(人/ha)	59 (H22)	R2	今後公表予定	61	—	現時点で実績値の確認はできないため、実績値が確定した段階で評価を行う。
			59	都市整備局	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口(千人)	365 (H22)	R2	今後公表予定	370	—	現時点で実績値の確認はできないため、実績値が確定した段階で評価を行う。
			60	政策局	快適でにぎわいのある都心づくりの満足度(%)	20.4 (H27)	R1	32.3	23	上昇(目標達成)	中心市街地における魅力創出や賑わいづくりに向けた環境整備やイベントの実施等により満足度が向上したものと考えられる。
		②公共交通の維持・確保	61	都市整備局	主要路線バス利用者数(1日あたり)(人)	30,700 (H25)	R2	24,612	31,500	低下	駅バス時刻表の設置、岡山駅バス乗り場再編、低床車両の台数増強等を行うことによりバスの利便性向上が図られたため、ほぼ横ばい状態で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け大幅に減少した。
			62	都市整備局	生活交通導入地区数(試験運行開始地区を含む)(地区)	—	R2	6	4	上昇(目標達成)	庁内の関係部署や地元積極的に生活交通の情報提供を行うことにより導入促進が図られたため、目標を上回る地区で生活交通を導入することができた。
			③商店街の賑わい創出	63	産業観光局	商店街歩行者通行量(人)(休日)【再掲】	5,283(H26)	H29	5,654	5,700	上昇
		産業観光局			商店街歩行者通行量(人)(平日)【再掲】	4,113(H26)	H29	4,324	4,400		
		④都心創生まちづくり	64	政策局	歴史・文化ゾーン来訪者数(千人)	2,818 (H25)	R2	1,548	3,300	低下	集客イベントの実施等により来訪者は増加傾向にあったが、平成30年は平成30年7月豪雨による観光客の減少、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症禍における各施設の休館や外出自粛等の影響により来訪者数が減少し、目標は達成できなかった。
			65	政策局	旧内山下小学校年間訪問者数(人)	13,000 (H26)	R1	19,337	15,000	上昇(目標達成)	来訪者数は、岡山芸術交流2019における旧内山下小学校来訪者数。 (R2は大規模イベントの開催実績がなく、評価不能)
	⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やトピックスによる活力の創出		66	市民生活局	岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会の鑑賞者数(人)	46,620 (H26)	R2	25,659	60,000	低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初4回を予定していた定期演奏会が2回中止されるなど活動の自粛を余儀なくされたため、鑑賞者数は大幅に減少した。
		67	市民生活局	おかやま国際音楽祭の来場者数(人)	54,562 (H27)	R2	8,254	57,000	低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、大型イベントの中止や会場変更、無観客での実施などを余儀なくされたため、来場者数は大幅に減少した。ただし、新たに実施したWeb配信では、一定の効果があった。	
68		市民生活局	ファジアーノ岡山のホームで開催される試合の平均入場者数(人)	8,404 (H26)	R2	3,072	12,000	低下	新型コロナ感染拡大防止のための外出自粛や無観客試合、入場制限がかかっていたことが指標低下の大きな要因であると思われる。 継続事業を実施し、集客促進に努めるが、今後も新型コロナウイルスの蔓延状況が数値に大きく影響すると思われる。		
69		市民生活局	岡山シーガルズのホームで開催される試合の平均入場者数(人)	3,397 (H26)	R2	1,348	4,500	低下	新型コロナ感染拡大防止のための外出自粛により、入場者数が低迷したことが指標低下の大きな要因であると思われる。 継続事業を実施し、集客促進に努めるが、今後も新型コロナウイルスの蔓延状況が数値に大きく影響すると思われる。		
(2)地域連携の推進	②地域おこし協力隊の活用による地域活性化	70	政策局	地域おこし協力隊導入数(人)	—	R2	13	12	上昇(目標達成)	農産物や加工品の生産・販売支援や、地域資源を活用した交流事業などを行っており、H28年度の事業開始以降、延べ13人の協力隊員が活動し、目標を達成している。	

基本目標	施策等	指標番号	担当	指標	基準値	実績値		目標値(R2)	指標の評価		
						年	値		状況	コメント	
(3)健康寿命の延伸と豊かな医療・介護資源を生かした地域づくり	①生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり	71	保健福祉局	健康寿命の延伸(歳)【再掲】	男性69.0 女性72.7 (H22)	R1	男性72.2 女性74.9	男性72.2 女性75.3	上昇	健康無関心層を含めた健康づくりのきっかけとなった健康ポイント事業をはじめ、ええとこ発見園などを活用した地域における市民協働の健康づくり活動の展開により、男性については、目標値の水準に到達、女性については、目標値の水準には達成していないものの前回の実績値より伸びている。今後は、地域に加え職域との連携も図りながら、市民の健康的な生活の習慣化に向けさらなる取り組みを進めていく。	
		72	保健福祉局	かかりつけ医がいる市民(60歳代～80歳代)の割合(%)	63 (H24)	R1	77.1	70	上昇(目標達成)	意識調査の集計方法を変更したため単純比較はできないものの、出前講座等の啓発活動により、かかりつけ医の意義を周知できている。	
		73	保健福祉局	認知症サポーター数(人)	28,924 (H27)	R2	55250	58000	上昇	認知症サポーター数については、令和元年度に目標値を達成したため上方修正したが、令和2年度の養成数は大きく減少しているため見直し後の目標値は未達成となっている。令和元年度末から令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集合型の講座は、緊急事態宣言中は中止せざるをえなかったこと、感染症対策の影響により受講人数の制限をしたこと減少の要因となっている。	
		74	保健福祉局	生活・介護支援サポーター養成数(人)	822 (H27)	R2	1,465	1,550	上昇	平成30年度までは6福祉区ごとに広範囲にわたり受講者を募集していたが、受講後に活動実践につながりにくかったという状況を受け、R令和元年度からはエリアをしぼる形で会場も市民に身近な公民館で実施することとした。その結果、受講者は減少して目標を達成することはできなかったが、地域の受講者同士の仲間づくりが進み、活動実践者の増加につながった。 ・支え合い推進員を中心に関係機関と協働し、担い手を養成するとともに活動できる場へ結びつくよう支援を強化していく。	
	②医療・介護の強みを生かした地域包括ケアシステムの構築	75	市民生活局	刑法犯認知件数(件)	8,420 (H26)	R2	3,951	5,000	上昇(目標達成)	地域防犯ボランティア支援事業、防犯灯設置支援事業、特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業などを通じ、地域の自主防犯意識の浸透が進み、目標を達成できたと考える。	
		76	市民生活局	自転車の関係する人身交通事故件数(件)	1,110 (H26)	R2	463	600	上昇	自転車の安全利用については、街頭啓発や小学生への実技指導を含む自転車安全運転免許証交付事業を着実に実施しており、成果が見られるが、自転車保険加入など新たな課題への対応が今後必要と見込まれる。	
		77	危機管理室	自主防災組織組織率(%)	61.0 (H26)	R2	94.1	100	上昇	平成30年7月豪雨災害を教訓として、防災・減災対策に欠かすことのできない地域防災力(共助)を強化するため、令和元年度初期に目標値を上方修正した。令和元年度は自主防災組織に関する地元への丁寧な説明や活動に対する助成制度の見直しによって指標は上昇傾向にあるものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で総会の開催や自主防災組織の活動に必要な物資の購入等が進まず、見直し後の目標は達成できなかった。	
		78	財政局	最適化目標(施設類型毎)とする総延床面積(m <sup>2</sup> )	1,941,371.28 (ハコモノ)(H26)	R2	1,951,535.54	—	基準値に対し横ばい	公共施設マネジメントの取り組みについては、ハコモノの寿命は数十年に及び、メンテナンスサイクル、施設等の整備経過や更新時期等が異なるため、中長期的な視点が不可欠であり、短期スパンでの数値上の成果は難しい。一律数値のみで公共施設マネジメントに取り組むことはせず、各地域課題なども考慮し進めていく必要がある。	
	(4)安心に暮らせる地域づくり	①市民生活の安全・安心の確保	79	市民協働局	地域活動への参加割合(%) 【そのうち20歳代の参加割合】	39.9 (H27) 【(17.9) (H27)	R1	45.3 【20.1】	52 【30】	上昇	フォーラムや講座の開催等により地域活動への参加割合は順調に増加しているが、若者や企業など多様な主体への働きかけが不十分であったため、目標値に届かなかった。今後引き続き、若者や企業など多様な主体に向けた普及・啓発を進め地域活動への参加を促す。
			80	市民協働局	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(学区・地区)	17 (H26)	R2	40	50	上昇	活動事例報告会の開催など活動の学び合いや情報を共有する取組等によって、増加傾向にあったが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全・安心ネットワーク活動を含む地域活動等の中止や自粛がされたことから、目標値に届かなかった。活動再開後は、多様な主体に向けた普及・啓発を進め地域活動への参加を促す。
			81	市民協働局	ESD学生インターンシップ経験者の社会貢献活動への参加割合(%)	—	R2	58	75	上昇	新型コロナウイルス感染症拡大により、社会貢献活動への参加が難しくなり、目標達成に至らなかった。
		82	市民協働局	ESDインターンシップ協力校(校)	—	R2	11	10	上昇(目標達成)	SDGsの社会的な広がり等により、大学生の社会貢献活動への意識が高まったため、多くの大学から学生が参加し、数値が上昇した。	
83		環境局	生物多様性保全に取り組む企業数(団体)	2 (H26)	R2	17	18	上昇	当該企業数に位置付ける基準等が明確でなかったため、令和元年度までで実績計上を取りやめとし、今年度からの第2期から当該指標を削除した。令和2年度の数値は、令和元年度の数値と同じ値を記入した。		
(5)地域の課題解決のための持続可能な取組	②ESDの推進による地域づくり・人づくり	84	環境局	太陽光発電設備、高効率給湯器など省エネルギー機器の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減効果(年間)(t-CO <sub>2</sub> )	—	R2	74,954	71,730	上昇(目標達成)	太陽光発電システムや蓄電池の設置及びLED照明器具や高効率空調機への切り替えが進んだことにより、目標を達成することができた。	
	④汚水処理施設の整備による快適な水環境づくり	85	下水道河川局 環境局	汚水処理人口普及率(%)	80.2 (H26)	R2	84.7	85.0	上昇	・平成28年度から単独処理浄化槽又は汲み取り便所からの転換に対する補助金の上乗せ(※単独処理浄化槽は令和元年度まで)と令和2年度から単独処理浄化槽から合併処理浄化槽の転換設置については、宅内配管の補助を実施した効果もあり、合併処理浄化槽の設置は着実に進んでいる。今後引き続き、普及啓発を推進していく。(環境局) 一部事業に遅れがあるものの、目標達成に向け整備を着実に進めている。(下水道河川局)	

地方創生推進交付金活用事業等 効果検証(案)

(1) 地方創生推進交付金活用事業

事業名	岡山型国際対応ヘルスツーリズム拠点化促進プロジェクト
担当局	産業観光局

事業概要

実施年度	H28年度～R2年度（5カ年）				
単位：円	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
歳出（事業費）	38,082,069	32,599,639	33,704,507	57,338,535	29,547,225
歳入（交付金）	(19,041,034)	(16,199,699)	(15,919,247)	(28,147,909)	(14,773,612)

全体事業の概要	<p>ムスリムインバウンドに必要なハラル対応に特化した取組と岡山の豊かな自然をいかした「健康」メニューを組み合わせることにより、飲食店や宿泊施設等のハラル対応の増加による商工振興・雇用促進施策、農業・農村体験の観光メニュー化等による農業振興施策と密接に連携しながら、「岡山型国際対応ヘルスツーリズム」として国内外からの幅広い観光客誘致へとつなげていく。</p> <p>具体的には、ハラル対応の食事をはじめ、「健康」につながるツアーの要素として温泉入浴、農業・農村体験や郷土芸能などを組み合わせた体験メニュー等を、岡山連携中枢都市圏の資源を活用して周遊観光パッケージ化し、「岡山型国際対応ヘルスツーリズム」産業として育成する。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピーチマーク認定施設への訪問・育成</li> <li>○岡山ムスリムガイドブック等の製作</li> <li>・ムスリムフレンドリー（一部ハラル認証）対応の飲食店・土産物、礼拝場所、郷土芸能や農業体験等を紹介したムスリムガイドブックを製作</li> <li>○公式ホームページ・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信</li> <li>○岡山在住のムスリムでネットワークをつくり、それぞれのSNSから岡山の情報を発信</li> <li>○ムスリム旅行客用情報媒体「HHWT」を活用し情報発信</li> <li>○マレーシア及びインドネシアにPRデスクを設置し、情報収集、旅行会社等との関係づくり及び情報発信の実施</li> <li>○マレーシアの旅行会社とタイアップした情報発信</li> <li>○マレーシア・インドネシアの旅行会社を対象としたオンライン商談会への参加及びオンラインセミナーの実施</li> <li>○マレーシア出身のハディ・ファイヤット選手（フジャアノ岡山）をアンバサダーとして任命し、ハディ選手によるファミツアーの実施、本人のSNSから情報発信、PR動画を製作し情報発信を実施</li> <li>○日テレアックスオンなどと連携し、ハディ選手によるマレーシア向けのPR番組を製作しAstro Arenaで放映</li> <li>○インドネシア出身のファティマさん（日本在住・歌手）によるファミツアーを実施、本人のSNSから情報発信、PR動画を製作し情報発信を実施</li> <li>○渡航解禁後の教育旅行誘致のため、マレーシア及びインドネシアの学校と岡山の学校のオンライン学校交流の実施</li> <li>○ムスリムに影響のあるランドオペレーターのファミツアーの実施</li> <li>○JNTOジャカルタ事務所及びJNTOクアラルンプール事務所と連携した情報発信</li> <li>○Masjido Indonesia Tokyoでの情報発信</li> <li>○農業・農村、業度芸能・日本文化・軽スポーツ等の観光メニュー化</li> <li>・いちご収穫体験、ぶどうの収穫体験、吉備路サイクリング体験、もちつき体験、お抹茶体験など、地元産品を用いた地産地消の推進や、健康志向の観光メニュー化を図った。</li> </ul>

KPIの進捗状況

指標名	連携自治体内におけるムスリム観光客の宿泊者数（人）					
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
目標値	1,059	1,559	2,059	3,059	4,059	
実績値	1,990	2,230	1,687	1,812	396	
指標名	連携自治体内における観光入り込み客数（千人）					
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
目標値	12,171	12,889	13,649	14,454	15,307	
実績値	12,043	11,282	10,195	11,106	5,635	
指標名	ハラル対応店舗・施設数（件）					
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
目標値	13	25	39	55	73	
実績値	11	48	51	60	73	

検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に効果があった</p> <p>○岡山型ヘルスツーリズム連携協議会を運営（会員数：43団体）し、岡山独自の認定基準を満たしたおもてなしマーク「ピーチマーク」を作成・表示し情報提供する仕組みを構築して、これまで79件の飲食店等を認定（うち8件廃業等により外れる）するとともに、地元のムスリムと連携した飲食店等のブラッシュアップ、フルーツ狩り等6件を観光メニューとして追加するなど、受入環境整備を図った。マレーシア及びインドネシアに観光レップを設置し、現地での情報収集及び現地旅行会社等との関係づくり、情報発信等を実施。また、日本在住のマレーシア・インドネシア向けに影響のあるKOLと協力した情報発信等を行った。</p> <p>○JNTOから2021年4月に発行された「訪日旅行誘致ハンドブック 東南・南アジア7市場編」の中で、マレーシア市場及びインドネシア市場において、岡山が外客誘致の成功事例として紹介されており、JNTOからも認められているため、取組の効果はあった。</p>
新年度事業見直し方針等	<p>事業内容の見直し（改善）</p> <p>JNTOから岡山が外客誘致の成功として認識されており、これまでの取組は妥当なものであったが、新型コロナウイルスの影響により、現時点では訪日旅行を行うことができないため、Withコロナ・Afterコロナを見据え、ムスリム受入環境のブラッシュアップを行うとともに、ムスリムにとって岡山は安全・安心な旅行先であるとオンラインによる適宜・適切な情報発信等を行う必要がある。</p>

事業名	まちの持続可能な開発を実現する真の生涯活躍のまちづくり
担当局	保健福祉局

**事業概要**

実施年度	H30年度～R4年度（5カ年）				
単位：円	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
歳出（事業費）	57,710,854	161,314,807	134,740,085		
歳入（交付金）	(28,802,637)	(80,657,403)	(67,370,042)		

全体事業の概要	<p>将来の疾病リスクを把握し、一人一人に合った生活習慣改善メニューの提示を可能にするため、AIを活用してビッグデータを解析し、保健指導に用いる「AIを活用した健康見える化事業」を実施する。</p> <p>また、生活習慣を改善するメニューを豊富なものとし、市民の健康な生活を習慣化するため、身近に健康づくりが行えるフィットネスや飲食店等のヘルスケア関連企業とともに新たなサービスの開発と、サービスを利用することによりインセンティブ付与の仕組みを「SIBを活用したヘルスケア推進事業」で構築する。</p> <p>さらに、地域活動や企業活動の担い手の確保のため、高齢者等の就労課題がある人について、その人の状態に合わせた適切な就労支援機関につなげる「SIBを活用した生涯活躍就労支援事業」を行う。</p>
事業内容	<p>○AIを活用した健康見える化事業 国民健康保険被保険者の健診データ等をAIで解析し、将来的な疾病リスクを見える化したうえで、一人ひとりに適した具体的な生活改善メニューを提示し、より効果的な保健指導を実施する。</p> <p>○SIBを活用したヘルスケア推進事業 中間支援組織業務関係経費（事業運営、事業の進捗管理、コンソーシアムの運営）、生活習慣改善メニューの開発及び運営に係る経費、事業効果検証等経費 58,250千円</p> <p>○SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 民間就労支援機関と社会福祉協議会が連携し、高齢者等の就労支援や定着支援を行う。雇用先企業等に対しては、高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しを求めていく。</p>

**KPIの進捗状況**

指標名	医療費抑制効果(千円)					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標値	-	57,600	136,800	255,600	378,000	
実績値	-	86,379	181,022			
指標名	生活習慣の改善に取り組んでいる人の数（人）					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標値	-	6,000	7,000	9,000	-	
実績値	-	2,658	4,056			
指標名	ヘルスケア関連企業として生活改善メニューを提供している企業の数（社）					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標値	20	25	32	42	-	
実績値	24	38	44			
指標名	就労・社会参加につなげた高齢者等の人数（人）					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標値	210	590	970	1,350	1,730	
実績値	271	403	751			

**検証・見直し方針**

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に相当程度効果があった</p> <p>○AIを活用した健康見える化事業 AIによって判明した将来の健康リスクを見える化し、アプリによって日々の取組を支援することで、生活習慣改善に向けた行動変容を促すことができた。</p> <p>○SIBを活用したヘルスケア推進事業 市民や従業員の健康に対する企業の意識の変容と、新たなサービスやメニューの開発等が促され、市民の身近に健康になる環境整備が進んだ。</p> <p>○SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 企業へ的高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しについての理解促進は順調に進み、高齢者のニーズにあった就労のマッチング支援を行うことができた。</p>
新年度事業見直し方針等	<p>事業の継続</p> <p>○AIを活用した健康見える化事業 事業参加方法を見直し、取り組みやすい環境を作るとともに、医療機関等での利用を検討し、より多くの被保険者が生活習慣の改善を実践できるよう事業を進めていく。</p> <p>○SIBを活用したヘルスケア推進事業 多くの市民の事業参加を促すために、引き続き市民の身近に健康的なサービスを受けられる環境を整備し、より魅力ある事業とする。</p> <p>○SIBを活用した生涯活躍就労支援事業 利用登録者のうち、ボランティアに比べ就労のニーズが当初の見込みより高く、1人当たりの支援時間がより多い就労に時間を割いたため、就労につなげた高齢者等の人数は順調に伸びたが、ボランティアにつなげた人数が伸び悩んだ。今後は、ボランティア希望者については市社会福祉協議会のボランティアセンターとも連携しながら、より効率的な支援を行っていく。</p>

事業名	スタートアップ&学生チャレンジ支援による「おかやまイノベーション推進プロジェクト」
担当局	産業観光局、政策局

### 事業概要

実施年度	R元年度～R3年度（3カ年）		
単位：円	R1年度	R2年度	R3年度
歳出（事業費）	20,678,724	17,470,994	
歳入（交付金）	(9,391,463)	(7,441,657)	

全体事業の概要	<p>市内等で学ぶ外国人留学生を含む大学生が、地域住民や地元企業等と協働して地域課題の解決に向けて取組む活動や、大学で学んだプログラミング、建築、デザイン、語学等のスキルを活用したビジネスの起業にチャレンジすることを促進するとともに、地元企業等が中心となり地域一丸で大学生のチャレンジを応援する環境づくりを進めることで、大学生の地域への興味・愛着と地元企業への関心・理解を高め、もって学生の地元定着向上を図る。</p> <p>またイノベーションは多様な人材が交流することにより相互に誘発され成長すると言われる中、西日本の主要都市である岡山市が交流を起点にイノベーションを次々に生み出す都市へ成長していく役割を担うため、大学生や外国人留学生を含め起業を目指す多様な人材が集う新たな拠点を設置し、起業に関するコミュニティとネットワークを形成することで岡山市から起業創業の推進を図る。</p>
事業内容	<p>○学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生イノベーションチャレンジ推進補助制度の創設</li> <li>・専門コーディネータの配置</li> <li>・「おかやまスタートアップ支援拠点」の活用</li> </ul> <p>○おかやま・スタートアップ支援推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかやまスタートアップ支援拠点の設置・運営</li> <li>・拠点コミュニティマネジャーの配置</li> <li>・拠点直営プロジェクトの実施</li> </ul>

### KPIの進捗状況

指標名	学生イノベーションチャレンジの参加学生の地元就職率と市内学生の地元就職率平均値を比較した値（％）			
	R1年度	R2年度	R3年度	
目標値	110	120	130	
実績値	-	-		
指標名	岡山市内で開催の起業コンテスト応募件数（件）			
	R1年度	R2年度	R3年度	
目標値	168	178	188	
実績値	85	92		
指標名	学生イノベーションチャレンジの参加学生数			
	R1年度	R2年度	R3年度	
目標値	120	140	160	
実績値	153	-		

### 検証・見直し方針

KPIの進捗状況の検証	<p>地方創生に効果があった</p> <p>○おかやま・スタートアップ支援推進プロジェクト コンテストへの参加数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値には達成していないが、拠点で実施されるイベントについては、感染状況が落ち着いた令和3年3月には市内学生を含む多くの参加者で賑わい、スタートアップへの関心が高まっているものと思われる。また、令和2年度からはイベントの開催に加え、「アクセラレーションプログラム」の成果発表として拠点でのビジネスプランコンテストを開催した。</p> <p>○学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 新型コロナウイルス感染症の影響から、事業は実施できなかった。</p>
新年度事業見直し方針等	<p>事業の継続</p> <p>・スタートアップ支援に繋がるイベントやプログラムの開催により起業・創業に関心を持つ層の裾野の拡大に一定程度の効果があったものと考えられる。</p> <p>今後は起業家の源泉となる大学、高校等へアプローチし、行動力のある学生にスタートアップに触れてもらうプログラムを行うことで地方発のスタートアップを数多く輩出できるよう取り組んでいく。</p> <p>・学生イノベーションチャレンジについては、岡山市と関連のある大学のみならず、専門学校も対象とするとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じることで、事業を実施する。</p>